

岐阜県公立入試 類似)

- (2021年 岐阜県公立入試 類似)

- (2020年 岐阜県公立入試 類似)

- (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- (2017年 岐阜県公立入試 類似)

- (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- 9

(2018年 岐阜県公立入試 類似)

- (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- (2023年 岐阜県公立入試 類似)

- 曲線

(2017年 岐阜県公立入試 類似)

- (2026年 岐阜県公立入試 類似)

- (2016年 岐阜県公立入試 類似)

- 1

答え合わせ・解説

問1	答え 4 国民審査	司法権の独立を尊重しつつ、主権者である国民が裁判官を直接チェックする仕組みとして導入されています。罷免（辞めさせること）を可とする票が、罷免を不可とする票よりも多い場合に、その裁判官は辞めさせられます。なお、この制度の対象は最高裁判所の裁判官のみであり、地方裁判所などの裁判官は対象となりません。
問2	答え 4 かんがい	乾燥した地域で農業を行うためには、外部から人工的に水を引く「かんがい」の設備が不可欠です。アメリカでは広大な農地を効率よく潤すために、巨大な回転式スプリングラーを用いたセンターピボット方式などのかんがい施設が発達しており、これが大規模な農業経営を支える重要な要素となっています。
問3	答え 1 ミレニアム開発目標（MDGs）などの国際的な目標設定や、新興国の経済発展によって貧困層の所得が向上したため。	二〇〇〇年に国連で採択されたミレニアム開発目標（MDGs）において、「極度の貧困と飢餓の撲滅」が掲げられ、国際社会が連携して支援を行いました。これに加え、中国やインドといった人口の多い新興国が目覚ましい経済成長を遂げ、多くの人々が貧困を脱したことが、世界全体の貧困率低下の大きな要因となっています。その後、この流れは持続可能な開発目標（SDGs）へと引き継がれました。
問4	答え 3 中江兆民が『社会契約論』を翻訳・紹介し、国民の権利や自由の重要性を主張した。	中江兆民は、フランスの思想家ルソーが唱えた「主権在民」の思想を『民約訳解』として翻訳・紹介しました。この理論は、国会開設や憲法制定を求める自由民権運動に強い理論的根拠を与え、彼は「東洋のルソー」と呼ばれました。他の選択肢にある福沢諭吉は啓蒙思想家ですが、兆民のように直接的に自由民権運動の理論的指導者として活動したわけではありません。また、西郷隆盛の行動は土族の不満に基づくものであり、ルソーの思想とは異なります。
問5	答え 3 文化財保護法に基づき、有形・無形の文化財を保存するとともに、それらを地域の資産として教育や観光に活用する。	地方自治体が行うまちづくりにおいて、文化財は単に古いものを残すだけでなく、地域のアイデンティティを形成し、観光客を呼び込むなどの「活用」の側面も重視されます。文化財保護法は、保存と活用の両立を求めており、有形の建造物群の保存地区の設定や、無形の伝統芸能の継承支援などを通じて、持続可能な地域社会の形成に寄与しています。公共施設への建て替えや過度な商業利用、排他的な制限は、文化財の本質的な保護や公共の福祉の観点から適切ではありません。
問6	答え 1 海外生産	1980年代、日本の輸出拡大に伴いアメリカなどとの間で貿易摩擦が激化しました。これを受け、日本の自動車メーカーは輸出を抑える代わりに、消費地に近い外国に直接工場を建てて生産・販売を行う「海外生産」へとシフトしました。これにより、現地の雇用を創出し、貿易摩擦を回避する狙いがありました。
問7	答え 2 拒否権と呼ばれ、5か国のうち1か国でも反対すれば、他の理事国が賛成していても議決が成立しない。	常任理事国には「大国一致の原則」に基づき拒否権が与えられています。これは、強力な軍事力や影響力を持つ国々の間で意見が対立したまま強引に決定を下すと、世界規模の戦争につながる恐れがあるためです。しかし、近年ではこの権利の行使によって、国際的な対立がある場合に意思決定ができなくなる「機能不全」の問題も指摘されています。
問8	答え 4 二元代表制	地方自治体において、住民が「首長」と「議会」という、役割の異なる2つの代表をそれぞれ直接選出する制度です。首長と議会が互いに対等な立場で独立しており、それぞれが住民に対して責任を負いながら、行政運営における抑制と均衡（チェック・アンド・バランス）を図っています。国政の議院内閣制では、国民が直接選ぶのは国会議員のみであり、内閣総理大臣は議会の指名によって選ばれる点が異なります。
問9	答え 3 石油危機（オイルショック）	第四次中東戦争の影響で産油国が原油価格を引き上げたことにより、世界的に物価が高騰し、日本では「狂乱物価」と呼ばれる深刻なインフレが発生しました。この出来事によって、1950年代半ばから続いていた日本の高度経済成長は終焉を迎え、1974年には戦後初めての実質経済成長率マイナスを記録することとなりました。
問10	答え 4 赤道と平行な横一直線の線	メルカトル図法などの経線と緯線が直角に交わる地図では、緯線はすべて赤道と平行な関係を維持して描かれます。そのため、特定の緯度を示す緯線（この場合は北緯40度）は、地図上では水平な直線として表現されることになります。一方で、日本を中心とした方位図法などの地図では、緯線は直線ではなく曲線として描かれることがあります。
問11	答え 1 風土記	律令政府は地方を統治するにあたり、各国の地名の由来や土地の肥沃さ、産出される産物、さらには古くから伝わる伝承などを調査し、報告させる必要がありました。こうしてまとめられた地理書は「風土記」と呼ばれ、現在は出雲国（島根県）のものがほぼ完全な形で残っているほか、数カ国の内容が今日に伝わっています。
問12	答え 3 パリ協定	1997年に採択された京都議定書では先進国のみに温室効果ガスの削減義務が課されていましたが、その後継となるパリ協定では、歴史上初めて途上国を含むすべての参加国が削減に取り組むことになりました。これは、持続可能な社会を築くための国際的な大きな転換点となっています。
問13	答え 1 強い日差しを遮り、入手しやすい泥を利用した日干しれんがで壁を厚く作っている。	乾燥した砂漠気候の地域では、建材となる樹木が育たないため、身近にある土を固めた「日干しれんが」が主な材料となります。厚い泥の壁は、昼間の強烈な熱気が室内に伝わるのを遅らせ、夜間の冷え込みを和らげる効果があります。高床式や急傾斜の屋根は、降水量の多い地域で見られる工夫です。